

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
—	総合生活キャリア学科	夜・通信			19	19	7	
	幼児教育保育学科	夜・通信			14	14	7	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<p><a href="https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus">https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus</a>          抽出方法：[大短区分]→「短大」を選択          [入学年度]→「2021年度」又は「2020年度」を選択          [学部・学科]→上記学科を選択          [フリーワード]→「実務経験のある教員」を入力</p>
---

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページにおいて公表 <a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210614_103145.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210614_103145.pdf</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(前職) 大学教授	令和3年 5月28日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(前職) 国家公務員	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
非常勤	(現職) 大学名誉教授	令和2年 4月1日～ 令和4年 3月31日	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>教員に対して次年度担当授業科目のお知らせをする際に、当該授業科目のシラバス原稿の作成依頼をあわせて行っている。シラバスの記載項目は、「講義の目的及び概要」「講義方法(当該担当教員の実務経験の有無を含む)」「授業計画」「到達目標」「成績評価基準と方法」「テキスト・参考文献」「事前事後学習」等について記載することとし、各項目の記載内容及び記載例をシラバス作成要領で示している。</p> <p>シラバスは、Web上で入力可能なシステムが構築されており、教員はWeb上に表示される次年度担当授業科目一覧から選択し入力していく。</p> <p>入力締め切り後、「シラバスチェック実施要領」で定められたチェックの観点に基づいて、各学科等の教務部員が内容の確認を行う。チェックの結果、明らかに基準に合致していないと判断される場合には、当該教員にフィードバックし修正を求める。なお、シラバスの作成についてはすべての学科で同様に進められ、当該年度の4月1日にWeb公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus">https://www2.siu.ac.jp/syllabus/syllabus</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は定期試験だけではなく、授業内の小テスト・発表・レポート・課題への取り組み状況など複数の項目の合計得点によって決定している。科目担当者はこれらの配点をシラバスに明記するとともに、各項目の得点を記した資料を単位成績認定時に提出し、成績の算出根拠を明示するなど厳密な成績評価を実施している。成績評価の基準は科目ごとにシラバスで示されており、『Study Guide』に明記されている次の2つの原則に則ったものとなっている。</p> <p>1) 科目の単位は、実施された全ての回の授業についての学習と、事前事後の自己学習に対して認められる。</p> <p>2) 病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要である。</p> <p>なお、成績評価の基準はすべての学科で同様に取り扱っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)          学習を効果的に進め、その質を高めるためにGPA制度を全学科で統一的に導入している。学生の成績評価を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができる。</p> <p>GPAは科目毎の成績評価に対して0.0点(不可)、1.0点(可)、2.0点(良)、3.0点(優)、4.0点(優+)のグレードポイントをつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出する。</p> <p>また、GPAの算出方法については『Study Guide』に明記して学生に周知している。さらに、各学期末にGPAが記載された個人成績表を保護者に送付する際、GPA制度についての説明を付し周知を図っている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>『Study Guide』 p 23～24 に記載  <a href="https://www.siu.ac.jp/assets/pdf/studyguide_tandai_21.pdf">https://www.siu.ac.jp/assets/pdf/studyguide_tandai_21.pdf</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)          札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。</p> <p>①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けている。          ②一般教養に関する広い教養を身に付けている。          ③自立して生きていくための社会人基礎力を身に付けている。          ④自立して生きていくための、専門知識、技能を身に付けている。          ⑤大学生活における諸活動を通じて、自主、自律、協同の精神を身に付けている。</p> <p>さらに学科ごとに卒業認定・学位授与の方針を定めホームページに掲載している。卒業の要件は『Study Guide』に明示し、教務部及び教授会で厳格な卒業判定を実施している。卒業の要件は次の3つである。</p> <p>1) 2年以上在学すること。ただし、休学等による学修中断の期間は、この在学期間に含まれない。また、在学可能期間は、休学期間を除き4年間が限度である。          2) 学則に定められた各学科の教育課程および履修方法によって62単位以上を修得すること。          3) 定められた授業料を完納すること</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>卒業認定・学位授与の方針：  <a href="https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=35">https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=35</a>          卒業要件：『Study Guide』 p. 11 に記載</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	札幌国際大学短期大学部
設置者名	学校法人札幌国際大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf</a>
財産目録	<a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf</a>
事業報告書	<a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_154208.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_154208.pdf</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210625_190307.pdf</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=249">https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=249</a>
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210601_173320.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210601_173320.pdf</a>
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 札幌国際大学短期大学部
教育研究上の目的（公表方法：公表方法：ホームページ、 <a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20200803_172442.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20200803_172442.pdf</a> ）
（概要） 総合生活キャリア学科 自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成する。 幼児教育保育学科 現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成する。
卒業の認定に関する方針（公表方法：公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項 <a href="https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=35">https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=35</a> ）
（概要）札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。 ①真理を探究し、自由を愛し、自らを省みる姿勢を身に付けている。 ②一般教養に関する広い教養を身に付けている。 ③自立して生きていくための社会人基礎力を身に付けている。 ④自立して生きていくための、専門知識、技能を身に付けている。 ⑤大学生活における諸活動を通じて、自主、自律、協同の精神を身に付けている。
総合生活キャリア学科 自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。 ①生活創造と就業に必要な基礎的知識、技能およびそれを基にした専門知識、技能を修得した学生 ②広い視野と社会人としての教養を持ち、自らの職業生活・社会生活のあり方を設計できる学生 ③多様な人々と協働するためのコミュニケーション能力および課題を発見し解決する能力を身に付け北海道に貢献できる学生
幼児教育保育学科 現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成することを目的としており、所定の期間在学し、学科の教育理念、教育目標に沿って設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得し、卒業までに下記に示す姿勢や能力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位規則に従い短期大学士の学位を授与する。 ①子どもの安全を守るための適切な配慮ができる学生 ②子どもの発達段階にあった保育ができる知識と技術を身に付けている学生

- ③子どもの健やかな育ちのために、必要な保護者支援ができる学生
- ④保育者の社会的な使命を自覚し、責任ある行動をとることができる学生
- ⑤保育者に求められる態度・姿勢と、社会人に必要な教養を身に付けている学生
- ⑥地域の国際化をふまえ、価値観の多様化を理解し、差別のない多文化共生の態度を身に付けている学生

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項、<https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=15>）

（概要）

札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、短大教育への円滑な移行を促すために、各学科に初年次教育科目を設定し、組織的な初年次教育の充実を図る。
- ②建学の礎(自由・自立・自省の精神)による人間形成を重んじ、学科の教育目的に応じて自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③実際的な専門教育と職業教育を目的として、各専門分野の知識、技能修得のための科目を設定する。
- ④生活・社会・文化への貢献のために、学科の教育目的に応じて、修得した知識、技能を用いて諸課題の解決に資する科目を設定する。
- ⑤演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥キャリア形成の観点から、社会人基礎力修得のためのキャリア科目を設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

#### 総合生活キャリア学科

自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成しており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、短大教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②建学の礎(自由・自立・自省の精神)による人間形成を重んじ、学科の教育目的に応じて自主、自律、協同の精神修得のための科目を設定する。
- ③質保証の基礎固めのため学科スタンダードを設定し、1年次の早期に、必修教養科目で基礎知識や技能を身につける。
- ④学科教育の2本柱を明確化するため4セメスターにわたり、生活・キャリア科目を配置し、教養教育の中心軸とする。
- ⑤体験を通して学習させるアクティブラーニング（フィールドワーク、インターンシップ、教室内PBL、課題解決演習等）を通して、生活とキャリアについて学習する。記憶して覚える学習ではなく、体験と経験を通して気づき、定着する深い学びを設定する。
- ⑥教養科目群に3つのコースユニットを設定し、コースの学びの方向性を意識する。コースの特色を明確にし、多様な学びの中に一つ芯を通す。
- ⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。

## 幼児教育保育学科

現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成することを目的としており、学生が卒業までにこの目的を達成するための教育課程を下記に示す教育課程編成・実施の方針に基づき設定する。

- ①高大接続の観点から、短大教育への円滑な移行を促すため、初年次教育の充実を図る。
- ②2年間の学修により保育者として必要な基礎力を身に付けることを目的として、子どもの健やかな成長を支えるための科目、子どもへの教育をおこなうための科目、保護者を支援するための科目、社会人として必要な教養を身に付けるための科目を設定する。
- ③本学科の教育を特徴づけるため、学びの土台を育てる「子どもの遊び演習」、「ことばの力」や、学生の興味・関心をさらに高める「保育プロジェクト演習」、「表現課題演習(基礎)」などを設定する。
- ④理論、演習、実習のそれぞれの科目を適切に配置し有機的に関連させることを目的として、自分が学んでいる科目がどのような意味をもち、どのような到達目標があるのかを自覚できる「カリキュラム・ステップ」を設定し、科目を配置する。  
ステップ0「学びへの期待を高める」  
ステップ1「保育という仕事を知る」  
ステップ2「子どもを知る」  
ステップ3「保育の方法を知る」  
ステップ4「保育者支援を知る」  
ステップ5「保育者としての仕上げをする」
- ⑤演習、実習、インターンシップ等を通じた実践的・体験的な学びを重視し、能動的・自主的な学修の充実を図る。
- ⑥キャリア形成の観点から、キャリア科目を体系的に設定し、社会的・職業的自立に必要な能力・態度を育む。
- ⑦成績評価の公正さと透明性を確保するため、シラバスに記載する成績評価基準・方法等および学則、規程等に定める所定単位修得により学修成果を評価し、その客観性を担保するため、複層的な積み上げによる多面的・総合的な成績評価を実施する。
- ⑧地域社会の多文化化、国際化に対応し、様々な背景をもった人々との交流を図れるようにするため、英語力、コミュニケーション能力、多文化理解を促す科目を設定する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：公表方法：ホームページ、キャンパスガイド、入試要項、<https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=18>）

### （概要）

札幌国際大学短期大学部は建学の精神に則り、実際的な専門教育と職業教育を施すとともに、教養に関する広い知識を授け、人格を磨き、生活および社会に貢献して文化の向上に寄与する良き社会人を育成することを目的としている。

### 【求める学生像】

札幌国際大学短期大学部は、上記のような人材を育成するため、本学の目的に賛同し、各学科の教育に関心を持つ人、本学の体系的・実践的なカリキュラムの下、幅広い教養、専門職業人としての知識、技能、論理的思考力、コミュニケーション能力、課題探求力・解決力、表現力を身に付け、生活・文化の向上および地域社会の発展に貢献することのできる人を受け入れる。

なお、本学への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において次に示す能力を身に付けていることを求める。

- ①高等学校の教育課程等で学んだ知識、技能。特に資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また国際化が進展する社会への対応に鑑み、英語の基礎的能力も要する。
- ②高等学校の教育課程等で学んだ豊かな心、他者を尊重する社会性
- ③高等学校の教育課程等で学んだ協同する心と探究心

総合生活キャリア学科



自立した職業人を養成するため、現代生活を主体的に創造する知識と技術を身に付けるとともに、自ら課題を見つけ解決する、多様な場で活躍できる実務能力を持った人材を育成することを目的としている。

**【求める学生像】**

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①自立した職業人を目指し、職業知識と実務能力を身につける意欲のある人
  - ②現代生活において、自由で主体的に生きるための豊かな知識と教養を身につける意欲のある人
  - ③国際化する社会で自己を豊かに表現し地域と積極的にかかわる意欲のある人
  - ④本学科の体系的・実践的なカリキュラムに基づく実際の専門教育と職業教育の下、幅広い教養、専門的知識、技能、論理的思考力、コミュニケーション能力、創造力、課題探求力・解決力を身に付け、多様な人々と協働し、自立した専門職業人として生活・文化の向上および地域社会の発展に貢献することのできる人
- なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、能力を身に付けていることを求める。

- ①学科の教育に適応できる基礎学力  
特に資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、国際化への対応ができる人材を育成することを目的としているため、英語の基礎的能力も要する。
- ②働く意欲を持ち、卒業後は就職をしようという姿勢を身に付けている人
- ③何かに挑戦し、取り組んだ経験がある人(スポーツ、音楽、生徒会、委員、英検・情報・商業等の資格取得)

**幼児教育保育学科**

現代の保育に必要な理論や技術を身に付け、共感的な感性と知性に支えられた、人間性豊かな保育者を養成することを目的としている。

**【求める学生像】**

本学科は、上記のような人材を育成するため、本学科の目的に賛同し、本学科の教育に関心を持つ、以下のような人を受け入れる。

- ①保育者としての社会的意義を理解し、子どもへの保育や保護者への支援を積極的に学びたいと強く望む人
- ②保育者として求められる知識や技能を、自らの努力および仲間との協働を通して身に付けていこうとする人
- ③保育には、子どもの生命の安全を守るという側面と、子どもの育ちを促すという側面がある。それらを学ぶ力が備わっている人
- ④保育の現場では保育者同士の協力が必要であり、良き保育者となるために、仲間と一緒に学び合っていくことができる人
- ⑤保育者としての責任と使命を知り、よりよい保育者を目指して自らの人間性や資質・能力を高め続けることができる人
- ⑥子どもの健やかな育ちを支えるために向上心をもち、常に学び続ける意欲がある人
- ⑦本学科の幼児教育保育に関する体系的・実践的なカリキュラムの下、身に付けた幅広い教養、専門的知識、技能、論理的思考力、コミュニケーション能力、表現力を生かし、幼児教育保育分野における課題を主体的に探求し、地域社会に貢献することのできる人
- ⑧国際化が進む中で、自らのものと異なる文化や価値観を理解し、差別のない多文化共生を実現できる人

なお、本学科への入学を希望する人は、高等学校の教育課程等において、次のような姿勢、

能力を身に付けていることを求める。

①学科の教育に適応できる基礎学力

特に資料を読み解き、考えを表現し、他者との円滑なコミュニケーションを図るために、国語の基礎的能力を要する。また、保育分野において英語力が必要とされているため英語の基礎的能力も要する。

②部活動等を通じて得られた協同する姿勢

③ボランティア活動等を通じて得られた社会貢献への姿勢

④現代社会における保育の動きに目を向ける姿勢

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：

[https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content\\_20210604\\_150541.pdf](https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210604_150541.pdf)

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
－	1人	－					1人
総合生活キャリア学科	－	3人	2人	1人	0人	0人	6人
幼児教育保育学科	－	5人	6人	1人	1人	0人	13人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0人	39人	39人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等） 公表方法：ホームページによる公表  
<https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=139>

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

- ①遠隔授業の操作、本学のガイドライン等について（2020年4月15日、16日）
- ②遠隔授業の中間評価と今後の対応について（2020年6月29日）
- ③学生支援に関わる本学での取り組み状況とサービス内容について（2020年9月14日）
- ④退学者、休学者の現状について（2021年1月8日）
- ⑤学生の就職の現状について-3年後離職率の報告-（2021年3月29日）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
総合生活キャリア学科	50人	42人	84.0%	100人	103人	103%	0人	0人
幼児教育保育学科	140人	79人	56.4%	280人	159人	57%	0人	0人
合計	190人	121人	63.7%	380人	262人	70%	0人	0人

(備考)

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)		その他
総合生活キャリア学科	44人 (100%)	0人 (0.0%)	40人 (90.9%)		4人 (9.1%)
幼児教育保育学科	87人 (100%)	1人 (1.1%)	79人 (90.8%)		7人 (8.0%)
合計	131人 (100%)	1人 (0.8%)	119人 (90.8%)		11人 (8.4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 進学先：札幌 YMCA 英語・コミュニケーション専門学校 北海道信用保証協会、(株)北洋銀行、北海道信用金庫、札幌トヨタ自動車(株)、アイングループ、(株)プリンスホテル、(株)アルファベットパステル、(株)ホクレン商事、(株)あいプラン					
(備考)					

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内			その他
		卒業生数	留年者数	中途退学者数	
総合生活キャリア学科	45人 (100%)	44人 (98%)	1人 (2%)	人 (%)	人 (%)
幼児教育保育学科	91人 (100%)	87人 (96%)	人 (%)	4人 (4%)	人 (%)
合計	136人 (100%)	131人 (96%)	1人 (1%)	4人 (3%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)

教員に対して次年度担当授業科目のお知らせをする際に、当該授業科目のシラバス原稿の作成依頼をあわせて行っている。シラバスの記載項目は、「講義の目的及び概要」「講義方法(当該担当教員の実務経験の有無を含む)」「授業計画」「到達目標」「成績評価基準と方法」「テキスト・参考文献」「事前事後学習」等について記載することとし、各項目の記載内容及び記載例をシラバス作成要領で示している。

シラバスは、Web上で入力可能なシステムが構築されており、教員はWeb上に表示される次年度担当授業科目一覧から選択し入力していく。

入力締め切り後、「シラバスチェック実施要領」で定められたチェックの観点に基づいて、各学科等の教務部員が内容の確認を行う。チェックの結果、明らかに基準に合致していないと判断される場合には、当該教員にフィードバックし修正を求める。

なお、シラバスの作成についてはすべての学科で同様に進められ、当該年度の4月1日にWeb公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
成績評価は定期試験だけではなく、授業内の小テスト・発表・レポート・課題への取り組み状況など複数の項目の合計得点によって決定している。科目担当者はこれらの配点をシラバスに明記するとともに、各項目の得点を記した資料を「単位成績認定書」に添付して提出し、成績の算出根拠を明示するなど厳密な成績評価を実施している。成績評価の基準は科目ごとにシラバスで示されており、『Study Guide』に明記されている次の2つの原則に則ったものとなっている。				
1) 科目の単位は、実施された全ての回の授業についての学習と、事前事後の自己学習に対して認められる。				
2) 病気などによりやむを得ず欠席したとしても、学習内容の理解と習得には3分の2以上の出席が必要である。				
また、学習を効果的に進め、その質を高めるためにGPA制度を全学科で統一的に導入している。学生の成績評価を数値化することで、客観的に学習結果をモニターすることができる。				
GPAは科目毎の成績評価に対して0.0点(不可)、1.0点(可)、2.0点(良)、3.0点(優)、4.0点(優+)のグレードポイントをつけ、1単位当たりの平均成績評価点を算出する。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
—	総合生活キャリア学科	62単位	有・無	年間48単位
	幼児教育保育学科	62単位	有・無	年間48単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		奨学金貸与資格、教職課程履修資格、留学の選抜等に利用している。 公表方法：『Study Guide』p23～24に記載 ( <a href="https://www.siu.ac.jp/assets/pdf/studyguide_tandai_21.pdf">https://www.siu.ac.jp/assets/pdf/studyguide_tandai_21.pdf</a> )		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法： <a href="https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210610_104013.pdf">https://www.siu.ac.jp/common/img/content/content_20210610_104013.pdf</a>
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
—	総合生活 キャリア 学科	1年次 765,000円	230000円	130,250円	施設費、教育充実費、学生研修費、学研災保険料
		2年次 795,000円	—	165,000円	施設費、教育充実費
—	幼児教育 保育学科	1年次 835,000円	230,000円	140,250円	施設費、教育充実費、学生研修費、学研災保険料
		2年次 845,000円	—	175,000円	施設費、教育充実費

## ⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

### a. 学生の修学に係る支援に関する取組

#### (概要)

全学的な学習支援施策の企画及び実施、並びに教育活動の継続的な改善の推進及び支援により、教育の質保証及びその一層の向上を図るために修学指導室を設置している。修学指導室が備える主な機能は以下の通り。

- ・パソコン貸出：学内で利用できるタブレットPCの貸し出し運用管理
- ・学修相談：大学の学修に関わる質問の受け付け
- ・個別学習スペース：一人ひとりに分かれた個別学習スペースの設置
- ・共同学習スペース：6人掛けテーブル、ホワイトボードを備えたグループワークスペース
- ・ラウンジ：飲食、私語可能な、友人と語らいながら学習のできるスペース
- ・推薦図書：修学指導室が推薦する学術入門書、参考書を整備

### b. 進路選択に係る支援に関する取組

#### (概要)

本学は「建学の礎」に基づいて「自由・自立・自省」の精神を備えた有為な人材を育成することを目標とし、そのための教育課程と学習環境を提供している。具体的には以下の通り。

#### 1. コミュニケーション能力の育成

社会生活上のエチケットを守り、あらゆる場面で、さまざまな人と言葉やそのほかの方法で深くコミュニケーションを図る能力を育成する。

- (1) マナー講座の実施
- (2) ゲスト講演会の開催
- (3) SPI 模擬テストの実施とフォロー
- (4) 話す力、聴く力、自分をアピールする力を高める学習の支援

#### 2. 学生の自立支援

学生の自立と、一人ひとりが達成感のある学生生活を送るための支援をする。

- (1) 個人面談の実施
- (2) 学生個々に合わせた求人情報の提供
- (3) 最新の就職情報・就職活動情報の提供
- (4) 道外出身学生への就職活動支援

#### 3. 1年次からの進学・就職支援

学生が将来の活躍の場を考え、一人ひとりが自分のキャリアデザインをイメージできるように、段階的なプログラムや資料、情報を提供する。

- (1) アドバイザー教員との連携
- (2) 就職ガイダンス・講演会の開催
- (3) 就職適性テストの実施
- (4) 業界研究セミナーの開催
- (5) 合同企業説明会の開催
- (6) 資格取得講座の開催
- (7) 関連科目への協力（資料提供、出前講義、講師派遣など）
- (8) 全国大学実務教育協会認定資格取得の機会提供

#### 4. 東北地方出身学生の就職支援

東北地方出身で、地元に戻っての就職を希望する学生のために、キャリア支援センターでは企業の採用情報収集を強化している（2020年度はオンライン開催）

#### 5. キャリア支援センター

「キャリア支援センター」は、就職・進学活動に取り組む学生をさまざまな面からサポー

ト。進路についての相談や就職に関するアドバイス、専門スタッフによる面接や履歴書の書き方の指導なども行っている。  
各業界とのネットワークも幅広く、企業や就職に関する情報を豊富に蓄積。就職や進学、キャリアアップについて、最大限の支援をしていく。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

学生の心身両面の健康増進及び修学支援の充実を図り、質の高い教育環境の保証及びその一層の向上に資するため、心理相談部門である「学生相談室」、健康支援部門である「保健室」及び修学支援部門である「学生サポートルーム」の3部門を統括する学生サポートセンターを設置している。

- ・学生相談室では、専門のカウンセラーが学生生活を送るうえで出会う様々な問題や悩みを聴きより良い解決方法を共に考える場を提供している。
- ・保健室では、急病やケガなど日常の応急手当、その他の健康に関することの相談に応じている。
- ・学生サポートルームは、面談室やフリースペース、個別学習室、セミナールームなどを備え、障がいを抱える学生や困りごと、心配事のある学生の修学支援（合理的配慮）、日常にかかる様々な悩みについて、社会福祉、精神保健福祉の国家資格を持つキャンパス・ソーシャルワーカーが、アウトリーチを含めた相談に応じている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://www.siu.ac.jp/about/detail.html?content=22>